

くよみ通信

No. 29 2021/04/01

春の兆しを探して 青陵の森を歩く(大沼雅枝記)

春はすぐそこと言う「ひな祭り」の翌4日、森に入った。

広場の奥に春の陽を浴びた赤い「ヤブツバキ」。教えられよく見ると「ギブシ」や「マシサク」にも淡い黄の花が。来月の「カタクリ観察会」の下見を兼ね、森中を巡る。

広葉樹の芽吹きはまだだし、珀杜さんが伐採してくれた森の中は、ビックリするほど明るい。「細川の滝」の水はすっかり解け、流れ落ちる水も名前のごとく細くなった。



↑上「ヤブツバキ」、下左「オニシバリ」、下右「シュンラン」の花芽

道々の落ちた小枝を除きながら、目を皿のようにして歩く仲間たち。「春蘭」の蕾、「フキノトウ」、そしてとうとう「カタクリ」の小さな葉を落葉の下から見つけ出し、

みんなから声が挙がる。

「セリバオウレン」は、まだチヨコレート色の葉で、地面にへばりついてい

る。次はもっと春をみつけてやろう。ほっこりとした気持ちでの帰り道、「あつ！巣箱の屋根がバラバラ」。色んな発見のあった半日であった。

ミュージアムinあおば
3/7 報告
(池上制作)
カードを作ってみました。

2021年4月の活動予定

4/1(木) 定例会

「青陵の森観察会+総会」
●集合 10:00 青陵中等教育学校
●会員のみ参加可

4/8(木) 一般参加イベント

「カタクリ観察会」
◆コロナ非常事態のため中止とします
●会員だけの春歩きとなります

4/15(木) 定例会

「青陵の森の整備・観察会」
◆春の整備作業を楽しみます
●集合 10:00 青陵中等教育学校
●会員のみ参加可

4/22(木)

「青陵の森・山菜研究会」
◆森からの贈り物をいただきます
●集合 10:00 青陵中等教育学校
●会員のみ参加可

市民センターミュージアム in あおば (大沼記)

3月7日(日)、サンモール一番町商店街で開催されました。吉成市民センターからは、我が「くよみ郷土研究会」の青陵の森の整備・観察、芋沢・中山街道の調査の活動内容が、パネル展示されました。当日は天気も良く、訪れた見学者に郷土研究会のパフレットも相当数、お渡しできました。会場入り口近くに古地図のコーナーがあり、昭和27年発行の仙台市街明細図を手に入れ収穫がありました。



青陵の森早春歩き パートIIです (木村記)

今日は、3月4日歩いた時からさらに春を発見することが一つの目的です。

南側ルートから入りました。びっくり！ヒトツボクロ見つけました。昨年発見した株は何者かに連れ去られてしまいました。したが、新たに見つけました。花柄も残っております。6月頃には花も咲くと思います。楽しみです。



↑「セリバオウレン」→「カタクリ」も、あと2、3日で咲いてしまいそうな陽気。↓ミズバショウ



↑「ハワサビ」は、今年は去年より葉が大きく、広がっていた。花も見えます！「ヒラギナンテン」



←「ミズバショウ」の沢への新しいルートを整備する会員たち。すごい馬力で、一挙に完成

センボンヤリの小さな葉が出てきました。長い花柄がまだしっかに残っておりませす（春の花はムラサキタンポポと言われます）。センボンヤリは源流沿いの法面にも結構ありました。セリバオウレンの花は満開、花後の変わった形をした実をしっか観察します。

カタクリは前の観察では葉を少し見つけたただけでしたが、花芽をつけたカタクリを見つけてました。4月早々には咲くかもしれません。

行くときには見つけれませんでしたでしたが、戻りにキブシの花を見つけました。光線の具合かこんなことはよくありますね（観察力がない、弱いからでしょうか）。

後半はもう一つの目標に挑戦しました。北側ルートにあるミズバショウなどのスポットへのルートを新設しました。

これはいままで下りていた路には結構いろんな花（トリカブト？なども）があり、それを



↑オニシバリの実はどんなかな

守るためです。ミヤマシキミのちよつと手前から入ります。強力な老人パワーで作業したので極めて速く終了しました。これからはこちらを使い下ることにします。

ミズバショウはさらに大きくなつて花はもうすぐです。満開のタイミングに会うことを祈ります。近くのハワサビは花も咲いており、もう少しして「はわさびの醤油漬け」が楽しめるほどになればと強く思う筆者です。

ここには「ミズ」もあるので、ちなみに森のいたるところ

にあるコシアブラの収穫にはまだまだでした。

広場ではオニシバリの花を観察しました。前回何だろうと調べてくれた木です。誰だったかが調べてくれました。

微に入り細に入り観察・活動を報告いたしました。

青陵の森 春の観察会に

（豊島記）

3月18日、陽気が続いたので、森の芽吹きが期待されます。さっそく「チョウジザクラ」

の花芽がふくらみ「セリバオウレン」の花が咲いているのを見つけた。キブシは、かんざしみたいで、かわいい。

「センボンヤリ」などのいろいろな新芽、新葉が出てきていてウキウキ。楽しい散策でした。冬に刈り払った所から「カタクリ」の葉があちこちに出てきました。

「ハワサビ」の群生している沢に下る所を、笹等を払って整備しました。